



おもと



www.omotokai.or.jp

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

重要度が増す外国人介護スタッフ

おもと会の優しく
優秀な外国人介護スタッフ
受け入れの歩みと
広がる可能性を紹介します



OMOTO TOPICS

壺宮通り会20周年記念事業への参加報告

「第10回 おもと会リハビリテーション部合同研修会」5年ぶりの対面開催

訪問看護ステーションCOMPASS 開設から4ヶ月

聴こえや言葉の豆知識 05

寝ている間に脳は成長中? 「覚える力」を支える睡眠のひみつ

四季探訪 カエンカズラ

杖の付属品について





笑顔に癒されると
利用者にも好評なんだよ



おもと会において増え続ける外国人介護スタッフについて、受け入れ側の人事や教育、現場の担当者が集まって語り合いました。

**おもと会の優しく優秀な外国人介護スタッフ
今や現場では欠かせない人材です
受け入れの歩みと広がる可能性を紹介します**

介護人材の不足が全国的な課題となるなか、外国人介護スタッフの受け入れと育成に取り組む施設が増えています。おもと会では比較的早い段階から受け入れを進めてきました。その経緯と現状を人事や教育、現場の担当者らがお話しします。

業界では先駆的な取り組みとして始まった

「おもと会が外国人介護スタッフの受け入れについて本格的な取り組みを始めたのは2017年。県内の介護事業所の方たちと一緒にフリーピンへ視察に行きました」と、きっかけを話すのは統括本部の平良也寸志人事部長です。

「翌年、県内の中小介護事業所が連携して沖縄県外国人介護協同組合が設立され、おもと会は2019年に加入して、組合を通して留学生を受け入れることになりました」

最初に来日したフリーピンからの6名は、2019年3月に沖縄に到着。まず日本語学校で1年間学びながら、法律で定められた週28時間の範囲内で介護施設でアルバイトをしました。

さらに翌年には沖縄リハビリテーション福祉学院の介護福祉学科に入学し、2年間勉強して、卒業後に介護福祉士の資格を取ったという流れだったそうです。

当時はまだ外国人介護スタッフの受け入れが現在ほど広がっておらず、先駆的な取り組みでした。

「将来的に介護人材の不足は必ず深刻になると考えていました。外国人の採用は手間も費用も掛かりますが、失敗しても法人として良い経験になるからやってみなさいと、理事長が決断してくれたのです」と平良部長は振り返ります。

**介護福祉士を目指す
仕組みづくり**

おもと会の取り組みの特徴は、比較的受け入れやすい外国人技能実習や特定技能といった制度ではなく、最初から介護福祉士の養成を目的として受け入れられている点です。

「特定技能などは5年間の在留期限があるので、一時的な労働力という位置付けになってしまっています。それでは双方にとってメリットがありません。一方で、



「外国人介護スタッフ受け入れの取り組みについては『失敗しても良い経験になるからやってみなさい』という理事長の言葉が後押ししてくれた」と、おもと会統括本部の平良也寸志人事部長。



沖縄リハビリテーション福祉学院の津波古園子事務部長は「外国人留学生がハングリー精神をもって勉強しているのを感じます」と語ります。



沖縄リハビリテーション福祉学院介護福祉学科の渡慶次学科長は「フィリピンとネパール、ベトナム、それぞれ1名が介護福祉士の国家試験に一発合格しています」と胸を張ります。

在留資格の制度には「介護」があり、介護福祉士の資格を取得すればこれが認められ、5年を超えても働けます。ただそれは、国家資格を取得させるわけですから、ハードルは高く、労力も時間も要します。何よりも本人たちが余程頑張らないといけません」

しかしながら、おもと会は、医療・保健・福祉の人材を養成することが基本理念の一つになっており、グループ内に沖縄リハビリテーション福祉学院が

あります。

学院に2年間通ってもらい、介護福祉士の資格を取れば家族を呼び寄せることもでき、場合によっては永住も可能なのです。

「人手不足という課題を抱える介護現場、日本で長く働きたい外国人、双方にとってメリットが大きい仕組みだと考えました」と平良部長。

在留資格「介護」を目指す方がメリットが大きいという判断だったわけで、こうした国の制度をうまく活用したことも

も功を奏したようです。

学院で2年学んで 国家資格取得を目指す

では、沖縄リハビリテーション福祉学院では、実際どのように外国人を受け入れているのでしょうか。介護福祉学科の渡慶次学科長および津波古園子事務部長は次のように話します。

「学院に入学する外国人留学生は、まず日本語学校に通い、その後の進路として介護を選んで入学してくるケースが多いで

すね」

学院では2年間の養成課程で専門知識や技術を学び、在学中に介護福祉士の国家試験を受験します。在学中に合格できなかった場合でも、卒業後に介護現場で働きながら5年以内に資格を取得すればいい制度になっています。

渡慶次学科長や津波古事務部長は「2年間しっかり勉強していることが評価されている制度だと思っています」と説明します。

ところで外国人留学生の受け入れは2018年度から本格的に始まりました。最初はベトナム出身者で、その後フィリピンやネパールなど国籍は広がりました。

「これまでに42名が介護福祉士の国家試験を受験し、23名が合格しています。全国の養成校の外国人留学生の国家試験合格率が47・9%（昨年度）となつていますので、当学科の合格率は、全国平均を上回っています」と渡慶次学科長は胸を張ります。

学費についてはおもと会にも奨学金があるほか、県の奨学金制度もあります。これは貸付ですが、沖縄で5年間働けば返済が免除になります。保証人が必要ですが、そこはおもと会も対

応します。

「外国人留学生は、日本に来て成功しなければならぬという思いがとて強いですね」と渡慶次学科長は語ります。

借金して日本に来ている人も多く、勉強に向き合う姿勢は非常に真剣で、昭和の学生のようなハングリー精神を感じることもあるといいます。しかも母国で大学まで出ていたり、優秀な人も多いようです。

「日本人学生の方が彼らに学ぶ面も多いですね」と渡慶次学科長はいいいます。

卒業後は、多くが実習先やアルバイト先でもおもと会に入職しています。月に1回外国人留学生の会議があり、学院の在学生と卒業生が話し合いの場



学院で渡慶次学科長のきめ細かい指導を受ける外国人留学生のみなさん。

を持つのは大きなメリットとなつています。

すでに数年働いている卒業生の中には、現場のリーダー的な役割を担う人材も出てきているといえます。

「外国から来た学生が日本の介護を学び、成長していく姿を見るのは本当にうれしいです。利用者の方に認められて働いている姿を目にすると、大きなやりがいを感じますね」

生活面まで支える 手厚いサポート

現在、おもと会で働く外国人スタッフはグループ全体で49名のほり、介護職員の約8%を占めるまでになっています。今年も受け入れが予定されているなど、今後さらに増える見込みです。

前述のように、おもと会は外国人介護スタッフ受け入れについて先駆的に取り組んできたわけですが、他の事業所ではあまり見られない大きな特徴がひとつあります。それは、外国人介護スタッフを支援する専任担当者がいることです。

この担当者が入国手続きやビザの更新、住居探し、引っ越し



ノーリフトケアの研修を受けるマニサさんとクリシヤンタさん。



2026年1月に特養おもと園に入職した二人。ネパール出身のカトリ・マニサさん(左)と、スリランカ出身のテネゲタラ・クリシヤンタ・マドゥシャン・ヘーラットさん。

のサポート、体調を崩してしまつた際の受診の手配など、生活面を含めた幅広い支援を行っています。さらに、LINEグループを通じて日常的に相談を受けるなど、きめ細かなサポート体制を整えています。

「小規模事業所では事務の方と
か総務の方が兼務して行つたり、一部の手続き関係を行政書士に任せるケースもあるので、生活面の支援はとも重要なので、私たちは専任者が対応しているのです」と平良部長。

「しかし、当初は苦勞も多かったといひます。最初のフィリピンのケースでは、日本語もほとんど話せない状態で、しかも初来日だったため、おもと会側としてもかなり時間や労力を要したそうです。」

「それが近年多くなつたネパールの場合は日本語学校に通いながら1、2年沖繩で生活をしている人もいて、そうしたケースではおもと会側の手間も比較的にかからないといひます。それでも定期的に入国管理局の手続きやビザ関連についてはサポートしているそうです。」

「ちなみに、おもと会グループは2024年に、沖繩ネパール友好協会とキャリア支援に関する連携協定を締結し、今年、初の特任技能の方を8名受け入れています。その方たちも介護福祉士を目指しており、そのキャリア支援も行つていひます。」

「では、実際に現場で働く外国人スタッフについて、各部門の担当者は、どのような印象を抱いているのか、個別に聞いてみました。」

まず、特養おもと園の呉屋徹施設長です。

「現在、フィリピンから3名、ネパールから4名、スリランカから1名、計8名の方に働いてもらつていひます。以前は台湾の方もいひました。異動した人も含めるとこれまで累計11名を受け入れていひます。」

もちろん介護のお仕事ですが、学生は法律で週28時間までと決まつていひるので、その範囲でサポート的なことをしてもらつていひます。ちなみに2カ月ほど前に受け入れた特任技能の方たちも、サポートを受けながら介護の仕事をしつかりしてもらつていひます」

外国人スタッフに対する印象はどうでしょうか。

「外国人だからといつて利用者さんから苦情が出たことはありません。利用者さんと談笑しているところもよく見かけます。言葉を含めて特に問題になるようなことは今までありません」

「外国人だからといつて利用者さんから苦情が出たことはありません。利用者さんと談笑しているところもよく見かけます。言葉を含めて特に問題になるようなことは今までありません」

「特定施設入居者生活介護かみはらに今5名ですね。ネパールからご夫婦2名ともう1名の3名、スリランカから女性2名。印象として、接遇は日本人よりうまくて、こちらが見習いたいくらいです。笑顔が本当に素敵です。言葉もかわいらしいですよ。利用者さんがそこに癒されるという話はよく聞かれます。」

「外国人スタッフに働いてもらう上で、苦勞することや気を付けていひることについて。」

「フィリピンはそうでもありませんが、ネパールやスリランカは宗教の関係で食事に気を使ひます。本人たちも自分でしつかり対処していひますが、職場での会合や新年会、歓迎会などの際には、食べられるものを確認したりしひますね。それと、ゴミ出しなどの細かな社会ルールの理解してもらつてもや大変です。」

「でも、一番困るのは病氣された時ですね。幸ひ今まで大きな病氣はないです。し、うちはグループ内に病院があるので比較的対応もしひやすい。これが他の事業所だとかなり大変なんじゃないかなと思つていひます」

「利用者からの評判は、いかがですか。言葉の問題などは。」

**笑顔がいいし
人柄も優れていひる**

「外国人だからといつて利用者さんから苦情が出たことはありません。利用者さんと談笑しているところもよく見かけます。言葉を含めて特に問題になるようなことは今までありません」

「外国人だからといつて利用者さんから苦情が出たことはありません。利用者さんと談笑しているところもよく見かけます。言葉を含めて特に問題になるようなことは今までありません」

「外国人だからといつて利用者さんから苦情が出たことはありません。利用者さんと談笑しているところもよく見かけます。言葉を含めて特に問題になるようなことは今までありません」



「利用者さんと外国人介護スタッフが談笑してるところもよく見かけますよ」と特養おもと園の呉屋徹施設長。



地域包括ケアセンターかみはらの金城恵利子センター長代行兼事務部長は「将来自分の介護をしてもらいたいと思うくらい外国人介護スタッフもいます」といいます。



「わかっているようで実はわかっていないとか、食べられないものがある点については配慮が必要です」と特定施設入居者生活介護かみはらの儀部郁枝管理者。

す。将来自分の介護をしてもらいたいと思うほど、すごくいい人たちです。

苦勞する点としては、先ほど呉屋施設長からもありましたが、食事ですね。スリランカの2人については鶏以外の肉は食べられないのです。とはいえ野菜も安くないので、こちらとしては栄養状態が気になり、食材を職員が提供したりしています」

特定施設入居者生活介護かみはらの儀部郁枝管理者は次のように語ります。

「今回入職したスリランカの2名は、接遇面において飲み込みがとても早く、環境にもすぐ慣れ、笑顔でやさしく利用者の方々に接する姿が多く見られます。そのため、施設ではとても人気があります。

介護技術の指導においては、

『はいはい、できます』『大丈夫です』といった返答が多いものの、本当に理解しているかどうかを丁寧に確認しながらステップアップできるように支援しています。この「理解度の確認」が非常に重要なポイントです」

では、大浜第二病院看護部の城間真喜子教育担当介護主任に聞きます。

「現在、大浜第二病院では12名の外国人スタッフが働いています。全員がネパール出身です。みなさん学院で学んでおり、そのうち4名は現役の学生です。卒業したみなさんは介護福祉士の国家試験に一度で合格していて、本当に頼もしい存在なんですよ。日本語学校も卒業しているの

で、日本語もとても上手です。ただ、先ほどもお話しがあったように、分かっているようでも聞き直してみると解釈の違いなど理解していないこともありますね。そんな時は、先輩を呼んで通訳してもらったりしています。

解していないこともありですね。そんな時は、先輩を呼んで通訳してもらったりしています。

それと、ネパールには大切なお祭りや儀式があつて、その時期にはお休みが必要になることがあります。ご家族に不幸があつた時には、食事や過ごし方に決まりがある場合もあります。そつした背景を知ると、こちらも自然と『どうしたら安心して働けるかな』と考えるようになりますね。文化の違いというより、互いを理解し合うきつ



大浜第二病院看護部の城間真喜子教育担当介護主任は「本当に頼りがいがありますし、日本語も上手ですよ」といいます。

かけになつている気がします」

母国での事業所設立の夢を応援したい

外国人介護スタッフについて現場からは「助かっている」「もう欠かせない戦力」「そろそろリーダーや主任になつてもおかしくない」といった声が聞こえてきます。

「一般企業では外国人幹部も珍しくありませんから、介護施設で幹部になつてもおかしくないですよ」と呉屋施設長。

「大浜第一病院にフィリピン出身の介護福祉士がいるのです。が、退院時に、お世話になつたといつてこの職員にあいさつしてから帰る患者さんもいます。この人がいたからよかつたといつてですね」

「外国人介護スタッフが、ここまで早いペースで増えるとは思っていませんでした」と平良

部長もいいます。

「さらにこの4月には26名の外国人留学生が学院に入学しており、それも先輩たちからの口コミによるものです」

大変貴重な人材となつていくことは確かですが、今後に向けてどんな展望を持つているのかを平良部長が話します。

「たとえば、母国に帰つたら介護事業所を立ち上げる夢を持っているネパールの方がいます。そつした夢をおもと会が支援するとか。

そして、介護を学びたい方にはおもと会に来ていただき、教育を受けて、経験を積んでもらつて、また母国で活躍していただくとか。そつしたウィンウィンの関係を作り上げることができたら、よい関係が長く続くのではないかと考えています」



2026年は特定技能1号の介護スタッフもおもと会に入職。1月14日には、ネパールおよびスリランカから来日した総勢18名に辞令が交付されました。

壺宮通り会20周年記念事業への参加報告

2026年1月11日(日)、近隣で開催された「壺宮通り会20周年記念事業」に、地域交流の一環として参加しました。事前に通り会の理事に相談したところ、入居者の観覧について快くご了承いただき、参加が実現しました。

当日は晴れ間も見えるまずまずの天気でした。施設から約100メートルの会場まで、特定施設職員4名が2〜3回往復し、車椅子や杖を使用される利用者9名に安全に伴走しました。歩道は多少の凹凸があり移動時は大変でしたが、みなさん熱心に催しを楽しまれ、時折見せる笑顔が印象的でした。



イベントでは、餅つき、沖縄民謡ショー、昭和フォークソング、壺屋旗頭演武など、多彩な催しが行われました。特に旗頭演武は、利用者だけでなく県外出身の職員にとっても印象深かったようです。「つきたてのお餅を食べたかった」という声もありましたが、安全面を考慮し、今回は観覧のみとさせていただきます。

地域の行事に参加することで、利用者のみなさんにとって新鮮な刺激となり、地域とのつながりが感じられる貴重な時間となりました。今後も、地域との交流を大切にしながら、入居者のみなさんが楽しめる機会を積極的に取り入れていきたいと考えています。

特定施設入居者生活介護かみはら副センター長 兼務 看護介護統括科長

儀部 郁枝

「世代と施設を越えて、未来を語り合った150分」

～絆を越えた交流から生まれた、新たな気付きと繋がりが～



「第10回 おもと会リハビリテーション部 合同研修会」5年ぶりの対面開催

2026年1月17日(土)、講堂 Auditorium Other Annex 各会場で「第10回 おもと会リハビリテーション部合同研修会」が開催されました！

当日は2部構成のプログラムを行いました。第一部では石井隆平 本部長が「Post・Now・Next」時代を超えてつながる、おもと会タイムライン」と題して特別講演。第二部では「教育・人材育成」をテーマにしたパネルディスカッションとグループワークを開催。急性期から生活期まで、普段は異なる施設・部署で働く総勢150名以上のセラピストが一堂に会し、過去から未来へつながるおもと会のリハビリテーション部のビジョンを共有しました。ご参加いただいたみなさん、熱気あふれる活発な議論をありがとうございました！

大浜第一病院 リハビリテーション科 科長 嘉陽伊美

訪問看護ステーションCOMPASS

開設から4ヶ月

訪問看護ステーションCOMPASSは、いろいろな方にサポートいただきながら、2025年10月に無事開設することができ、早くも4ヶ月が経ちました。

私たちは地域に根ざした訪問看護ステーションとして、自宅で療養されるみなさまが安心して暮らせるよう支援。看護師が定期的に訪問し、健康状態の観察、医療処置、服薬管理、リハビリ支援、ご家族への助言まで幅広く対応できるよう体制を整え、主治医やケアマネジャー、医療・介護機関と密に連携し、切れ目のないケアを提供します。一人ひとりの想いに寄り添い、その人らしい生活を大切に支えます。

24時間対応体制で緊急時もサポートしていきたいと思っております。これからも支援のほどよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションCOMPASS 管理者 浦底力



杖の付属品について

今回は介護保険利用の購入ではなく、自費で購入された杖の付属品紹介です。

一般的な一本杖の先は、突く時のクッションや滑り止めも兼ねたゴムでできています。しかし、使用に伴い、すり減りや片減りが進み、滑りやすくなって転倒、ケガの恐れがあります。

ひどい時には先ゴムを貫通してしまうこともあります。杖の外径と、先ゴムの内径が一致すれば、ご自分での交換も可能です。

<p>●一本杖に取り付けることで、多点杖のように接地面が広く安定性が増します。(1,900円～)</p> 	<p>●一本杖の先ゴム。杖によって1.8mm、1.5mmが多い。(500円～)</p> 	
<p>●テーブルなどに取り付けることで、杖が固定できる。(600円～)</p> 	<p>●杖に取り付けることで、杖の破損が予防できる。(1,000円～)</p> 	<p>●持ち手に巻き付けることで滑りにくくなり、握りやすくなる(900円～)</p> 

購入に関してご不明な点があれば、福祉用具貸与サービスセンターにお電話ください。

※詳細については福祉用具サービスセンターおもと園・福祉用具貸与サービスセンターにお問合せ下さい。

福祉用具サービスセンターおもと園

TEL 098-833-1555

福祉用具貸与サービスセンターおもと園

TEL 098-851-0101

こえの葉の識 聴言豆

05

寝ている間に脳は成長中？ 「覚える力」を支える睡眠のひみつ

「最近、物忘れが増えた気がする」「集中が続かない」——そんな変化に不安を感じることはありませんか。実はそれ、脳がきちんと働いているサインかもしれません。脳は眠っている間に、日中の出来事や学んだことを整理し、必要な情報を記憶として定着させています。

寝る前におすすめなのは、難しくすぎない活動です。短時間のパズルもよいですが、編み物や折り紙など、リズムよく手を動かす作業は気持ちよく落ち着かせ、眠りの準備を助けてくれます。また、寝る前に思い出す内容は、「今日できたこと」や「少し安心した出来事」を一つだけで十分です。強い後悔や不安より、穏やかな気持ちのほうが、脳は整いやすくなります。

眠気やうっかりは、脳からの大切なメッセージ

「眠るのも脳の仕事」と考え、無理をせず、自分に合った形で脳を休ませてあげましょう。

眠りの質を整えることは、特別な道具がなくても今日から始められる、いちばん身近な脳のセルフケアです。

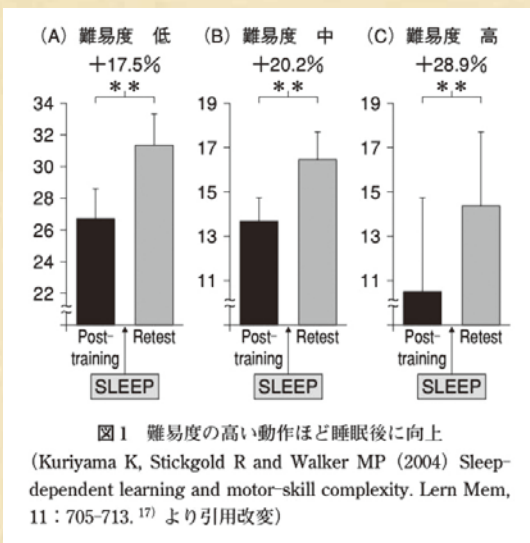


図1 難易度の高い動作ほど睡眠後に向上 (Kuriyama K, Stickgold R and Walker MP (2004) Sleep-dependent learning and motor-skill complexity. *Lern Mem*, 11: 705-713. ¹⁷⁾ より引用改変)

(栗山健一「睡眠と記憶、認知機能」(2011)より転載)

沖縄リハビリテーション福祉学院 言語聴覚学科 稲嶺葉月

おもと四季探訪

vol.25

カエンカズラ

おもととよみの杜 環境整備課 古堅 宗尚

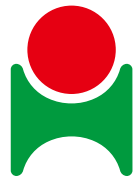


科・属名：ノウゼンカズラ科・ピロステギア属 草 丈：中南米ブラジル
別 名：オレンジ・トランペット・パイン 花言葉：栄光・壮麗・雄大・富貴吉祥

今回紹介するのは、オレンジの花色で太陽のエネルギーや南国の陽気さを連想させるカエンカズラです。とよみの杜内では、施設入口から進入路沿いを登っていくと左側の貯水槽フェンスで咲いています。寒い12月～3月が開花期で、花言葉の栄光・壮麗は、鮮やかなオレンジ色が炎のように咲き誇る姿から、力強さや華やかさを象徴しています。

もう一つの花言葉の雄大は、つるが自由に伸びてフェンス等に絡みつきながら花が咲く姿が、自然の力強さや壮大さを感じさせることに由来します。ピーク時には株全体が花で埋まるほどになり、挿し木や株分けでも増やすことができます。

すこやかな社会をつくる
- Create a Better Life -



医療法人 | 社会福祉法人 | 学校法人

おもと会グループ



医療



保健



介護・福祉



教育

📍 那覇地区

<p>おもと天久の杜</p> <p>大浜第一病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏥 急性期一般病棟 回復期リハビリ病棟 救急センター 心臓血管センター 透析センター 内視鏡センター 糖尿病センター 女性腹腔鏡センター 代謝外科センター 🏥 総合健康管理センター 🏠 デイケア <p>特別養護老人ホーム おもと園</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 入所 短期入所 🏡 あめくふれあいセンター 	<p>おもと天久の杜 ANNEX</p> <p>&home</p> <p>プレモ在宅クリニック</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏥 訪問診療 🏠 訪問リハビリ <p>在宅総合ケアセンター なは</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 居宅介護支援 訪問看護 ホームヘルパー 🏡 那覇市地域包括支援センター安謝 	<p>地域包括ケアセンター かみはら</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 特定施設入居者生活介護 居宅介護支援 デイサービス 訪問看護 グループホーム 小規模多機能ホーム 那覇市地域包括支援センター安里 	<p>ケアクロッシング 寄宮</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 小規模多機能ホーム ホームヘルプサービス 福祉用具 🏠 研修センター CC 寄宮 NO LIFT® LABO Lounge O
--	--	---	---

📍 豊見城地区 / おもととよみの杜

<p>大浜第二病院</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏥 回復期リハビリ病棟 訪問診療 医療療養型病床 訪問リハビリ 🏠 デイケア <p>特別養護老人ホーム すみれ</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 入所 短期入所 デイサービス 福祉用具 🏡 介護予防 おもとふれあいセンター <p>ケアハウスひまわり</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 軽費老人ホーム 	<p>介護老人保健施設 はまゆう</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 入所 短期入所 デイケア <p>在宅総合ケアセンター おもととよみの杜</p> <ul style="list-style-type: none"> 🏠 居宅介護支援 デイサービス ホームヘルプサービス 訪問看護 🏡 豊見城市地域包括支援センターとよみの杜
--	--

📍 宜野湾地区

介護老人保健施設
ぎのわんおもと園

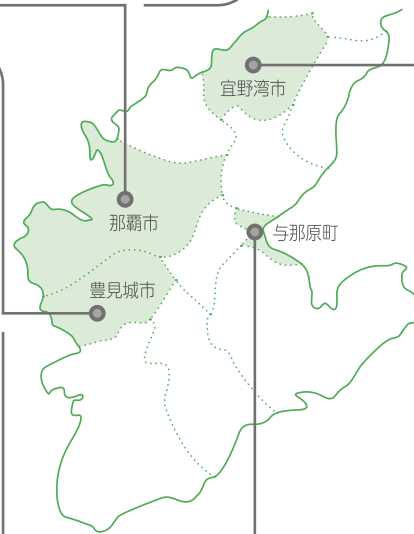
- 🏠 入所
- 短期入所
- デイケア
- グループホーム
- 小規模多機能ホーム
- 🏡 介護予防
- 🏥 訪問リハビリ
- 訪問看護

デイサービスセンター
上原

- 🏠 デイサービス

📍 与那原地区

🏠 沖縄看護専門学校 🏠 沖縄リハビリテーション福祉学院



おもと会 総合案内センター TEL 0120-333-432

<http://www.omotokai.or.jp>